

● ● ● 切手趣味週間にちなんだ特殊通信日付印 ● ● ●

SPECIAL POSTMARK FOR
Philately week

(A) 手押し用
(for hand stamping)



(B) 記念押印機用
(for machine stamping)



使用局 (A) 定例局

(B) 札幌、仙台、横浜、
東京、長野、名古屋、
大阪、岡山、福岡の
各中央郵便局

使用日 (A) 平成18年4月20日(木)

から同年4月26日(水)

(B) 平成18年4月20日(木)のみ

Available at: (A) Regular Post Offices

(B) Sapporo, Sendai, Yokohama
Tokyo, Nagano, Nagoya
Osaka, Okayama and Fukuoka
Central Post Offices

Date: (A) April 20~April 26 2006

(B) April 20 2006

Design:

(A) (B)

Puppies

意匠 (A) (B)

円山応挙筆「朝顔狗子図杉戸(部分)」

切手趣味週間にちなんだ郵便切手



Philately week

郵便局
POST OFFICE

● ● ● 切手趣味週間にちなんだ郵便切手 ● ● ●

「切手趣味週間」にちなみ、

平成18年4月20日に80円郵便切手を2種類発売します。

◀切手趣味週間にについて▶

切手趣味週間は、郵便切手が持つ「美しさ」や「芸術性」といった文化的価値を一般の方々に広く認識していただくとともに、切手収集の趣味の普及を図るため、昭和22(1947)年に制定された「切手趣味の週間」をその始まりとするものです。昭和22(1947)年から、これにちなんだ切手を発行しています。

現在は、郵政記念日である4月20日を含む1週間(今年は15日から21日)を切手趣味週間としています。

◀「朝顔狗子図杉戸(部分)」▶

その年の干支が描かれた美術文化財を題材に選び、発行している「切手趣味週間にちなんだ郵便切手」。

今年は戌年であることにちなみ、円山応挙(1733~1795)筆「朝顔狗子図杉戸(部分)」(東京国立博物館所蔵)からデザインしています。

この「朝顔狗子図杉戸(部分)」は、東京国立博物館内にある応挙館の杉戸絵の一部であり、もとは名古屋市近郊にあった明眼院の客殿として建てられたものです。

◀円山応挙(1733~1795)▶

江戸中期の画家。丹波の国穴太村に農民の子として生まれ、幼少のころから京都において狩野派の流れをくむ鶴沢派の石田幽汀に学ぶ。その後、「覗からくり」に使用される「眼鏡絵」の制作で西洋の遠近法・陰影法に触れ、中国の宋元画や花鳥画から写生の手法を学び、写実的な独自の画風を確立した。

また、この切手はご覧いただいた角度により2種類の別のデザインが浮かび上がる特別な印刷技術「メタリックマルチイメージ(金属多重模様)」を採用。切手の4辺の中央部の穿孔は、通常の丸型とは異なる「楕円形」の穿孔です。

(1)



(2)



種 意	類 匠	80円郵便切手 円山応挙 筆「朝顔狗子図杉戸(部分)」
		(1) 朝顔 (2) 狗子
発行日		平成18(2006)年4月20日(木)
シート構成		10枚(縦5枚・横2枚)
印面寸法		縦35.5mm・横25.0mm
小切れ寸法		縦38.5mm・横28.0mm
シート寸法		縦222.5mm・横93.5mm
版式刷色		グラビア6色 かねまつ ふみあき
デザイン		兼松 史晃(切手デザイナー)